

皆さま、こんにちは。

九月末のミシガンは相変わらず、朝は肌寒く、昼はカラッと暑い日々が続いています。

どのクラスも日々の課題に加え、小テスト・プロジェクトと、こなすべき量が少しずつ増えてきました。特にアメリカ政治は、日本でもあまり馴染みのない教科ですので難しいですが、精進していきたいと思います。

マーチングバンドは、フットボールの試合のハーフタイムに加えて、外部の発表会や老人ホームを訪問しての演奏など、少なくとも週に1~2回は本番があり、演奏する機会が多くありました。放課後に18時~21時の練習が連日続いたり、二週間で七曲すべての楽譜と動き方を覚えたり、と大変でしたが、友達も多くでき、やりがいを感じています。



さて、前回少し触れたのですが、週末の二泊三日でホストマザーの祖母宅を訪れました。州内ですが車で北へ二時間ほどかかります。5ヘクタール(東京ドーム1個分)の個人農園を持っていて、農産物の生産から・加工・販売まで、家族で手がけていて、私もそのお手伝いをさせて頂きました。収穫した野菜は、毎週土日(夏は金土日)に販売していて、10時~18時の営業時間は、座ってゆっくりする暇もないほど、多くの方が新鮮な野菜を買い求めに訪れていました。

前準備として、平日のうちにホストファミリー宅でホストマザーと一緒に、15種類の Amish Friendship Bread というパンを、大量に焼いて行きました。週末に農園で、そのパンと一緒に、早朝に収穫した様々な種類の野菜を店頭並べていきます。

開店中は、袋詰め・レジ打ち・野菜の補充をはじめ、接客に関するほぼすべての工程に携る機会がありました。はじめはコインの違いさえも分かりませんでした。会計にも徐々に慣れ、箱詰めや後払い等、英語での複雑な注文にも一人で対応できるようになりました。

そのような忙しい業務にも関わらず、合間にはサプライズの手作りバースデーケーキで気遣って下さって、帰り際には「ここをわが家だと思ってほしい」と祖母や子どもたちが涙でハグしてくれました。その思い出がとても名残惜しく、またお手伝いに行きたいと思っています。

家族経営のお仕事と生活を共にする中で、賑やかで温厚な一家の温かさに包まれ、本当に家族の一員になったような心地でした。

ちょうど9月にNYで行われた国連総会では、アメリカの農業が日米貿易交渉で話題に上がりました。

また、2019年から10年間は「持続可能な開発目標（SDGs）」を踏まえ、「家族農業の10年」とすることが国連で採択されるなど、飢餓から世界の食を守り抜く動きの中で、農業が注目されています。

大きな時代の流れとは角度を変えて見ると農業は、伝統的な高齢者の知恵と、若者の元気を合わせて生み出される、もっと身近で暖かな営みだったことが、とても印象的です。



アーミッシュとは

アメリカ移民当時の生活様式を保持し、農耕や牧畜によって自給自足で営んでいる人々として知られています。電気・電話・ラジオ・自動車などは使用せず馬車に乗るなど、近代以前の伝統的な生活スタイルを堅く守っています。伝統と違う思想や新しい生活用品は、慎重に吟味し、受入れるかどうか決めているため、「今も300年前と変わらない暮らしをしている」と紹介されたりします。

16歳になった子どもたちは、2年間親元を離れて俗世で暮らし、その後アーミッシュの生活に戻るか、人生の選択を迫られます。80%がアーミッシュに戻ると言われていますが、最近のデータでは90%が俗世にとどまったという説もあります。実際にミシガンにもコミュニティがあり、車で移動していると必ず、たくさんの車が行き交う車道を、悠々と走る馬車と併走します。ホストマザー曰く、私が見かけるアーミッシュの方々は、ミシガン州・インディアナ州・イリノイ州の一部にのみ住んでいるようです。

アーミッシュ・フレンドシップ・ブレッド

そのアーミッシュの名前がついた秘伝のパンです。

アーミッシュの秘密のレシピで作られたパンの種（スターター）を増やし、その一部をお友達にあげ、それを受け取ったお友達はまたその種を増やしお友達に…というように友情をつなぎ、お裾分けで交流を深めていく、ブレッドです。10日間もかけて酵母を発酵させ種を作ります。

1～5日目まで、毎日混ぜてこねます。

6日目に、小麦粉・砂糖・牛乳を1カップずつ加えます。

7～9日目まで、また毎日混ぜてこねます。

10日目で、いよいよケーキのようなパンを焼きます。

長い時間熟成した分、コクがあって美味しく、具材のアレンジもできて、素朴でホームメイドならではの良さで人気があります。秘伝のレシピのはずですが、流行したようでWEBでも上記のレシピが公開されています。

慣れないこともまだまだ多くありますが、日常のささやかな出来事に感謝し、これからも頑張ります。